

# 中部空港、規制変更で 岡崎の業者

中部国際空港（常滑市）の一人三十個まで持ち出し可能国際線出発エリアで二十五になったことを受けて販売を日、シンガポール渡航者向け開始。卵は事前に検疫の手続に県内産の卵を販売する取り引きを受けている。この制度で組みが始まった。

販売するのは岡崎市の「三」で初という。

栄鶏卵」が田原市内で生産する「まんげつ濃厚卵」。一セツト二十四個入り千三百円（免税）。

国産の生鮮食品を世界に発信する中部空港のセントレア・オイシイ・プレミアム・セレクトシヨンの一環で、松阪牛

同社の商品では最高級品。二ワトリの健康管理を徹底したり、餌にエゴマを加えたりしており、コクと甘味のある味わいが特徴という。

の市川尚宏社長は「日本の卵は現地の卵よりもおいしいので、例えば日本で本物のすき焼きを体験した人に空港で卵と肉を買ってもらい、母国で

日本とシンガポールとの合意で、十月一日から渡航客の個人携行品として日本の卵が

食べてもらえれば」と期待し

（小西数紀）

# 卵販売 シンガポールへ「お土産」



シンガポール渡航客向けに販売が始まった「まんげつ濃厚卵」。右は温泉卵に調理したものを中部国際空港で